

- ◇コロナ禍の女性は今・・・
- ◇生理用品の配布を行いました
- ◇毎年11月12日～25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です



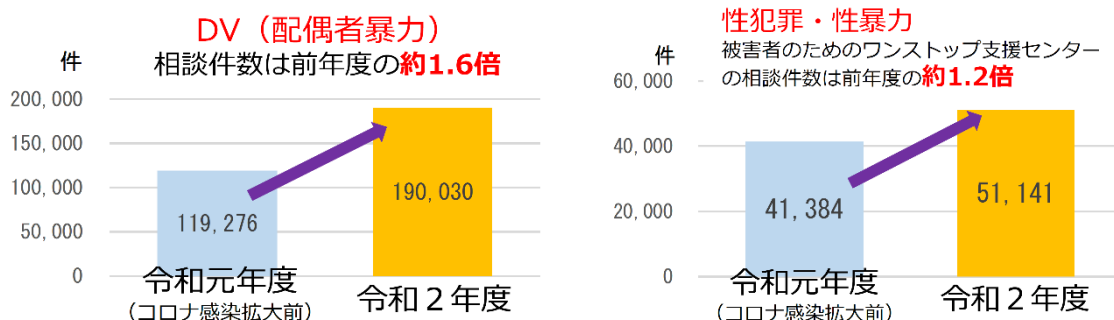
コロナ禍の女性は今・・・

新型コロナウイルス感染症の拡大は、特に女性へ深刻な影響が表れていると言われています。これは、日本において、ジェンダー平等・男女共同参画が進んでいなかったことが浮き彫りになった結果でした。コロナの拡大によって、未だ女性の立場が弱いことが見えたことにより、改めて、女性に焦点を当てジェンダー視点を踏まえた取り組みを進めていくことの必要性が叫ばれています。

世界から見た日本の男女共同参画

ジェンダーギャップ指数(世界各国の社会進出における男女格差を示す指標)2021では、**日本は156か国中120位**(前回は153か国中121位)で、先進国の中で最低レベルとなっています。男女共同参画はまだ遅れている国となります。

1 DV(配偶者暴力)、性犯罪・性暴力の増加



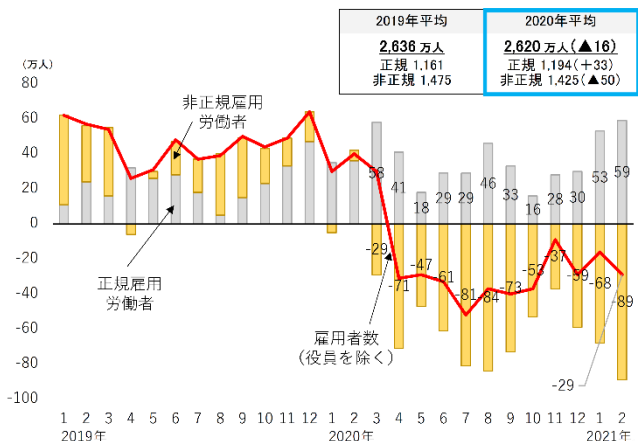
(出展: 女性活躍・男女共同参画の重点方針 2021 説明資料)

女性に対する暴力は、重大な人権侵害であり、決して許してはいけなない行為です。しかし、コロナ禍の生活不安やストレス、外出自粛による在宅時間の増加などによって、女性に対する暴力の増加や深刻化が心配されています。

※女性に対する暴力…DV、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメントなど

2 非正規雇用者数の大幅減少

雇用形態別雇用者数の前年同月差(女性)



(出展: コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書 図表)

コロナ禍で大きな打撃を受けている飲食・宿泊業などの雇用者は、女性の非正規雇用労働者の割合が多いため、女性の雇用の状況が急激に悪化しました。特にひとり親の失業率が大幅に増加となりました。

3 自殺者数の増加

自殺者数: 女性の自殺が大幅に増加

2019年合計	2020年合計
20,169人	21,081人 (+912)
男性 14,078	男性 14,055 (▲23)
女性 6,091	女性 7,026 (+935)

(出展: 女性活躍・男女共同参画の重点方針 2021 説明資料)

女性の自殺の背景には、経済生活問題や勤務問題、DV被害や育児の悩み、介護疲れや精神疾患など、様々な問題が潜んでいるとされています。コロナ禍で、そうした自殺の原因になりかねない問題が深刻化したことが、女性の自殺者数の増加に影響を与えている可能性があると考えられています。

